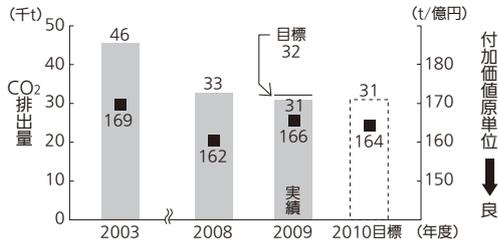


# 地球温暖化防止

地球温暖化防止に貢献するため、(社)自動車部品工業会提案の削減目標を重要視しています。  
CO<sub>2</sub>排出量削減についての社会動向を踏まえ、より生産工程の省エネに向けて活動を継続しています。  
省エネ法の改正についても対応準備を進めています。

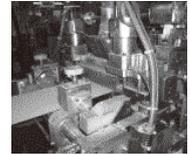
## CO<sub>2</sub>総排出量・付加価値原単位



## 取り組み事例

### 「ブッシュ素材 焼結ラインの不良低減」

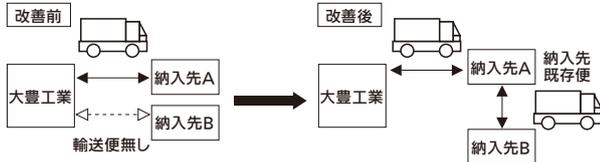
・素材工程で焼結の不良が発生していた点に着目し、不良低減活動として実施したところ、結果として省エネにも貢献する事ができました。  
効果:57t/年の低減



厚さ設定工程

## 輸送工程の取り組み事例

新製品の納入に対し、新規納入先への輸送便が無いため新しく設定する必要が発生。そこで、既存の輸送便と納入先の輸送便流用により、運行距離延長を防止しました。効果:0.68t/年の低減



## 担当者の声



幸海工務部 技術員室  
清 弘文

今回の改善は厚さ設定工程の設定だけでなく、作業者の技能の平準化と焼結温度の見直しなどを行う事により大きな効果を出す事ができました。  
今後は、他ラインへの横展開とさらなる省エネ活動に努めていきます。

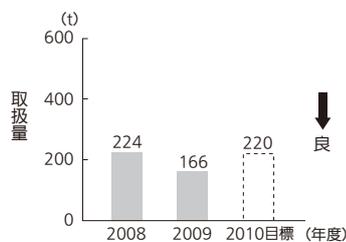
## 2009年度の活動結果と2010年度の目標

項目	実施内容(〇…成果大)	2010年度目標	重点実施項目
1. エネルギー管理	・工程別のエネルギー使用量をグラフ管理	CO <sub>2</sub> 総排出量 31,050t/年以下	CO <sub>2</sub> 多量排出設備の原単位管理・改善
2. 生産設備対策	・油圧ポンプの間欠化、省エネノズルの展開	CO <sub>2</sub> 原単位(付加価値生産額) 164t/億円	エア・不良率・待機エネルギー低減へのチャレンジ
3. 生産性向上	○製品別費用原単位を設定し、生産性向上を省エネ改善として評価		シンプル・スリム設計設備の導入

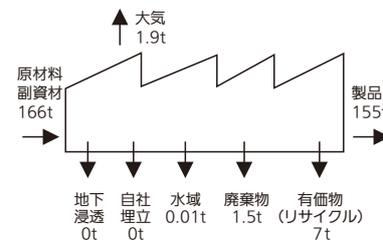
# 環境負荷物質低減

環境負荷物質の使用を管理し、非含有原材料・副資材への切り替えを推進してきました。  
今後もさらなる環境負荷物質低減を図るとともに、各環境規制にも柔軟に対応していきます。  
欧州REACH規則、改正PRTR法については、早い情報入手と確実な対応に努めています。

## PRTR法対象物質取扱量 (届出ベース)



## PRTR法対象物質の排出・移動量



## 取り組み事例

- 化学物質の適正管理  
生産工程で使用される副資材の保管方法を見直すことで、適正在庫量(使用量)まで見直しを図りました。
- 改正PRTR法への対応  
法改正により低減活動の対象となる物質が増加することを受け、事前に使用量把握などを実施しています。

## 2009年度の活動結果と2010年度の目標

項目	実施内容(〇…成果大)	2010年度目標	重点実施項目
1. 委員会活動の推進	・環境負荷物質委員会での鉛フリー化の推進 ○各工場の化学物質の適正管理	PRTR法対象物質取扱量 209t/年 以下	生産環境 ・PRTR法非対象物質への切り替え ・使用量低減
2. 法規制対応	・欧州REACH規則への対応 ○改正PRTR法への対応	(改正PRTR法考慮済み)	製品環境 ・新規立上げ製品成分チェック体制作り